

熊本市に「熊本地震復旧・復興寄付金」1,000万円を贈呈



11月11日、熊本市役所本庁所5階・庁議室にて麒麟ホールディングス株式会社から熊本市への「熊本地震復旧・復興寄付金」の贈呈式が行われました。弊社では、グループとして熊本地震への復興支援への取り組み「復興応援 キリン絆プロジェクト」を展開しており、今回の寄付もその一環として行われました。

2016年11月11日（熊本市役所本庁所5階・庁議室）

地域の活性化支援

熊本市への寄付金は、7月7日に「熊本城災害復旧支援金」として1,000万円を贈呈したのに続き2度目となります。熊本地震の被災に対し、熊本城の復興と連動する中心市街地の活性化のために、「熊本地震復旧・復興寄付金」として1,000万円を贈呈しました。

式では、グループを代表して麒麟ビールマーケティング株式会社熊本支社長（現 麒麟ビール株式会社熊本支社長）麻生芳彦が、熊本市長大西一史様に目録を手渡しました。

大西熊本市長の受贈者あいさつに続いて、意見交換が行われました。そこでは、「一番搾り 熊本づくり」の全国発売や1本につき10円の寄付について、大西市長から実現に至った経緯などについて質問をいただきました。それに対し、麒麟株式会社 CSV 推進部主幹 大北博一が、「全国のお客様からいただいた『飲んで熊本を応援したい』『一番搾り 熊本づくりはどこで買えるのか?』といった声が全国発売につながった」との説明を行いました。

コメント①

キリンビール株式会社 熊本支社長 麻生 芳彦

私自身、昨年4月に着任以来、熊本市で生活を送っています。住民の一人として、熊本地震発災直後から大西市長をはじめ職員の皆さまが、市民の人命救助や生活安定に不眠不休で当たられたことに深く感謝申し上げます。

キリングroupでは、東日本大震災の復興支援の一環として「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げ、熊本地震に際してもグループ各社一丸となって、被災地支援活動に取り組み、今後も微力ながら復興支援に尽力して参る所存です。プロジェクトには「食産業復興支援」「地域の活性化支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹があります。今回の寄付金は、その一つである「地域の活性化支援」として、熊本市のシンボルで市民の誇りでもある熊本城と、それに連動する中心市街地の活性化にお役に立ていただければと思います。またキリングroupでは引き続き、地域のニーズを踏まえ、地域に寄り添った復興支援活動を行って参りますのでよろしくお願いたします。



コメント②

熊本市長 大西 一史 様

本日は貴重な浄財を熊本市に寄付いただいたことを、市民を代表して厚く御礼申し上げます。キリングroupでは熊本地震の被災地に対する義援金1億円を拠出され、そのうち7月には「熊本城災害復旧支援金」として1,000万円をご寄付いただきました。

さらに今回の寄付に加え、全国発売されている「一番搾り 熊本づくり」では1本につき10円が被災地の復旧・復興のための支援に充てられるとのことで、大変ありがたく思っております。個人的な話ですが、東京などの友人・知人が連日のようにSNSで「一番搾り 熊本づくり」を飲んだよ」と、写真付きのメッセージを送ってくれます。そうした全国からの応援の気持ちが、寄付という形になるのもうれしい限りです。熊本市では、これまで以上に地域と行政が一丸となって、「新しい熊本づくり」に向けて頑張っていきたいと考えています。その中で、熊本城の復興と、それに連動した中心市街地の活性化を目的とした今回の「熊本地震復旧・復興寄付金」も、有効に活用して参ります。

